

## 5 公益財団法人名古屋国際センター

令和7年7月1日現在

設立年月日	昭和59年8月1日	代表者氏名	理事長 眞野 隆久		
所在地	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号			電話番号	052-581-5674
ホームページアドレス	https://www.nic-nagoya.or.jp				
資本金・基本金	345,200千円	市出資・出捐金	321,300千円 ( 93.1% )		
所管部局	観光文化交流局観光交流部国際交流課			電話番号	052-972-3062
設立目的	名古屋を中心とした地域の歴史、文化、その他の特性を生かして、市民の国際理解及び多文化共生を推進する事業を行うことにより、市民レベルの相互理解に基づく多文化共生社会の形成を促進し、誰もが共に豊かに安心して暮らせる社会の実現に努め、もって普遍的な国際平和に寄与する。				
主な事業	事業名	令和6年度 事業費	事業の概要		
	施設管理運営	119,222千円	名古屋国際センターの管理運営		
	国際留学生会館事業	83,993千円	国際留学生会館の運営		
	情報収集提供事業	70,680千円	情報サービスコーナー・ライブラリーの運営など		
役職員数		常勤			非常勤
	役員数	2人	(うち市派遣) 0人	(うち市OB) 2人	7人
	職員数	15人	(うち市派遣) 0人	(うち市OB) 0人	11人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		7,154千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		5,976千円
			正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		41.5歳
		令和4年度	令和5年度		令和6年度
市からの財政支出	委託料	0千円	0千円		0千円
	内 随意契約金額	(0千円)	(0千円)		(0千円)
	補助金	16,949千円	43,764千円		15,785千円
	指定管理料	297,545千円	331,419千円		336,318千円
	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円		0億円
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	500,549千円	597,812千円		536,408千円
	経常費用	502,627千円	559,210千円		540,272千円
	経常利益(損失)	▲ 2,078千円	38,602千円		▲ 3,864千円
	当期利益(損失)	▲ 2,078千円	38,602千円		▲ 3,864千円
貸借対照表	総資産	1,366,803千円	1,346,380千円		1,330,610千円
	内 流動資産	(195,536千円)	(215,799千円)		(233,120千円)
	内 固定資産等	(1,171,268千円)	(1,130,581千円)		(1,097,490千円)
	総負債	175,522千円	144,839千円		161,276千円
	内 流動負債	(111,311千円)	(91,418千円)		(104,209千円)
	内 固定負債等	(64,210千円)	(53,421千円)		(57,067千円)
	純資産(正味財産)	1,191,282千円	1,201,541千円		1,169,334千円

## 経営に関する指標（共通指標）

5 公益財団法人名古屋国際センター

○法人の自立性		令和5年度	令和6年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left( \frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	62.8%	65.6%	2.8%
市との随意契約比率	$\left( \frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
		令和6年7月1日現在	令和7年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left( \frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	11.1%	11.1%	0.0%
固有職員比率	$\left( \frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
○組織運営の効率性		令和5年度	令和6年度	対前年度増減
管理費比率	$\left( \frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	10.2%	12.7%	2.5%
○財務の健全性		令和5年度	令和6年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left( \frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	89.2%	87.9%	▲1.3%
流動比率	$\left( \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	236.1%	223.7%	▲12.4%
固定長期適合率	$\left( \frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}} \right)$	90.1%	89.5%	▲0.6%
借入金依存度	$\left( \frac{\text{借入金} + \text{社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金)	$\left( \frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金} - \text{資本金}}{\text{ }} \right)$	856,341千円	824,134千円	▲32,207千円

## ○ 経営戦略計画(R5～R9)の概要

経営戦略方針
<p>国籍に関係なく、すべての市民が安心して暮らし活躍できるまち・ナゴヤに向けて、センター施設を利用しながら各種事業を効果的に実施する。特に、在住外国人の増加に伴う多国籍・定住化やデジタル化の進展などの社会情勢への柔軟な対応、および災害や感染症流行などの緊急事態に対する迅速な対応を名古屋市はじめ関係機関と一層の連携を図りながら進める。</p> <p>また、安定的な収益基盤を構築するとともに、事務事業の改善、センターの認知度向上に努める。さらに、職員の専門性の向上を図る。</p>

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	6 目標値	6 実績値
「国際化推進事業」に対する市民の満足度向上を図る。 【公共サービスの充実】	交流事業の参加者の平均満足度(%)	90%以上	97.1%
	相談事業の相談者の平均満足度(%)	90%以上	95.6%
貸し施設等の利用料金収入の維持・向上を図る。 【財務内容の改善・向上】	利用料金収入(円)	7,000万円以上	93,643,025円
事業の「選択と集中」を進め、事業執行の効果性向上に努めるとともに、センターの認知度向上を図る。 【効率性の発揮と成果】	ウェブサイトのアクセス件数(件)	70万件以上	850,258件
職員能力の総合的向上を図る。なかでも、専門性の向上を図る。 【人材力・現場力の強化】	国際化専門実務研修受講者数(人)	10人以上	延38人